

# テーマ 『水害』

～地域資料が語る北上市～



「カスリーン台風(S22. 9. 15)による北上川氾濫」写真  
出典「写真帖 きたかみの今昔」



「アイオン台風(S23. 9. 16)により水浸しとなった現在の北上駅前」写真  
出典「写真帖 きたかみの今昔」

**R7. 1/5 (日) ～ 1/26 (日)**

場 所 北上市立中央図書館

開館時間 9:00～19:00 ※土・日・祝は18:00まで

休館日 6日(月)、14日(火)、20日(月)

日本は「災害大国」と呼ばれるように、地震や台風など自然災害と常に隣り合せて生活してきました。

水害だけに焦点を絞って振り返ってみても、令和6年8月28日では短時間の記録的な大雨により市内で通行止めが発生したように、これまでに北上市においても何度も色々な被害に見舞われてきました。

関連資料を展示すると共に、過去に発生した水害を振り返ります。

# 北上市を襲った水害

## 水害とは？

- ➡大雨や台風などの多量の降雨によって引き起こされる災害のこと。  
例) 河川の急激な増水による氾濫や土砂崩れなど

## なぜ大雨が降るのか？

- ➡日本の地理的な環境が関係している。  
日本は周囲を海に囲まれ、南側と東側は広大な太平洋に面している。一方で西側と北側は東シナ海と日本海を挟んで大きなユーラシア大陸が控えている。このため、季節の変わり目には梅雨前線や秋雨前線が停滞してしばしば大雨を降らせる。また、台風や前線を伴った低気圧が日本付近を通過するときも広い範囲に大雨を降らせることがある。

## 戦後最大の水害

- カスリーン台風（昭和22年9月15日）  
北上市での主な被害：死者6名、住宅流失14戸、床上浸水1,599戸等
- アイオン台風（昭和23年9月16日）  
北上市での主な被害：死者5名、住宅流失15戸、床上浸水505戸等

## 北上市での初の大雨特別警報発表

令和元（2019）年10月13日0時40分、台風19号の影響による大雨に伴い、気象庁は岩手県各市町村に大雨特別警報を発表。

雨量：10月の観測史上最大の122.5ミリ（盛岡地方気象台発表）

被害状況：屋根の飛散や剥がれ14件、道路冠水1件

民家や道路や公共施設の倒木31件、施設破損4件

市内16か所の避難所には200世帯380人が避難した